



【保存版】  
花のあるまちを満喫しよう! ..... 6・7

引っ越しシーズン 転入手続きはお早めに! ... 2

パブリック・コメント ..... 8

まちづくりフォトコンテスト入賞作品決定... 12

## 三鷹の森アニメフェスタ2007

3月3日(土)・4日(日)、芸術文化センター  
インディーズアニメフェスタは24日出、東京ビッグサイトで。

世界から高い評価を得ている日本のアニメーション。「三鷹の森アニメフェスタ2007」は、体験コーナーやトークショーなどを通してアニメーションの世界に触れられる楽しいイベントです。  
⇒生活経済課 ☎内線2543・コミュニティ文化室 ☎内線2512

### 展示と体験コーナー

▷ 3月3日(土)・4日(日)午前10時～午後5時、芸術文化センター創作・展示室で。

テーマは「アニメーションの仕事」。  
▶ 直接会場へ。  
「びえる」の仕事を紹介  
市内のアニメーション制作会社「びえる」制作作品を、アニメーション業界や時代の背景とともに紹介。  
パネル・ポストカードなどの展示も行います。



©岸本斉史 スコト/集英社・テレビ東京・びえる

「アニメーションの現場」を紹介  
テレビアニメーションができるまでを作品とともに紹介。市内小・中学校で取り組んだアニメーション制作過程の紹介も。  
オフィスより付属 ナレーター・声優養成所V-1 アカデミー  
▷ 午後3時～3時40分ごろ  
「機動戦士ガンダム」のガルマ・ザビ役や「30人31脚」のナレーションなどでおなじみの森功至さんを講師に迎え、ナレーター・声優講座を開催します。

びえるショップ  
オリジナルグッズを販売。

### 第5回インディーズアニメフェスタ

▷ 3月24日(土)午後3時～6時、東京ビッグサイト(東京国際アニメフェア2007会場内特設シアター)で。

若手クリエイターの自主制作アニメ作品の上映と審査員のトークショーなど。くわしくはHP  
<http://www.iafesta.jp/>へ。

▶ 当日、直接会場へ(大人1,000円・中高生500円)

### アニメーション古今東西 その4

▷ 3月4日(日)午前10時30分開場、芸術文化センター星のホールで。

事前申込は締め切りました。当日、若干の見立席をご用意します(先着順)

第1部(午前11時～午後1時)  
選りすぐりの短編アニメーションをジブリ美術館スタッフの解説付きで。

第2部(午後1時30分～3時15分)

一般の上映に先駆けて「春のめざめ」(アレクサンドル・ペトロフ監督作品)をご覧ください(下に関連記事)。また、映画のテーマともなっている思春期について、「バッテリーシリーズ」などの作者である作家・あさのあつこさんと俳優の阿部サダヲさんにお話しいただきます。

# みたか平和映画祭

1945年3月10日未明、東京は大空襲にみまわれ10万人もの尊い命が一夜で失われました。市では「東京都平和の日」と定められた3月10日の記憶をとどめるために、各国の話題作を上映する「平和映画祭」を開催します。

⇒企画経営室 ☎内線2115

3月3日(土)午前11時～午後6時30分

(開場10時40分)

芸術文化センター星のホールで

入場には整理券が必要で。

先着250人  
当日、直接会場へ。  
午前10時10分から  
各映画ごとの整理券配布。  
入場無料

### 上映スケジュール

時間	作品名(作品はいずれも35ミリ)
11:00～11:30	木を植えた男
11:50～13:52	ホテル・ルワンダ
14:30～16:07	亀も空を飛ぶ
16:40～18:30	GAMA 月桃の花



「木を植えた男」(アニメ)  
フレデリック・バック監督、ジャン・ジ  
オノ原作(カナダ/1987年/30分)

フランスの山岳地帯で、羊飼いのブ  
フイエは、たった一人で不毛の地に黙々と木を植え続けていた。それは、第一  
次・二次世界大戦が起こる間も続けられ、やがて不毛の大地は緑豊かな森へと変わるのだった。第60回アカデミー賞(短編アニメーション部門)受賞作品。



「ホテル・ルワンダ」  
テリー・ジョージ監督  
(南アフリカ・イギリス・  
イタリア合作/2004年/  
122分)

ホテルの支配人ポールは、フツ族によるツチ族の虐殺が始まるという噂を聞く。やがて噂は現実のものとなり...。1994年、ルワンダでの民族間抗争の際、大量虐殺の危機から人々を救ったホテルマンの実話に基づく話。

「亀も空を飛ぶ」  
バフマン・ゴバディ監督  
(イラク・イラン合作/  
2004年/97分)

イラク北部の小さな村。戦争孤児のサテライトは、子どもたちのアルバイトの元締めをしてみんなから慕われていた。戦争の犠牲となりながらも懸命に生きようとする子どもたちの悲痛な姿を映し出す。2005年ベルリン国際映画祭平和映画賞受賞作品。



「GAMA 月桃の花」  
大澤豊監督(日本/1996年/110分)

沖縄戦を体験した房は、家族が次々と爆撃に見舞われる中で、最後に追い詰められた洞窟から奇跡的に生還してきた。彼女の胸には語ることのできない恐ろしい秘密が積み込まれている。太平洋戦争末期、日本で唯一行われた地上戦、沖縄戦の実相を語る物語。

## 世界のアニメーションを紹介 三鷹の森ジブリ美術館 ライブラリーが始まりました

三鷹の森ジブリ美術館では、美術館が選んだ世界の優れたアニメーション作品を「三鷹の森ジブリ美術館ライブラリー」として、一般の映画館やDVDで紹介していきます。

記念すべき第1弾は、アカデミー賞受賞監督であるアレクサンドル・ペトロフ監督の「春のめざめ」(ロシア/27分)「ガラス絵手法」というセルアニメーションとは全く異なる表現方法を用いて描かれ、印象派絵画のように美しく、まさに「油絵が動く」という表現にふさわしい作品です。

くわしくは、同美術館ごあんないダイヤル ☎0570-055777・HP <http://www.ghibli-museum.jp/library/>へ。

映画館 シネマ・アンジェリカ 渋谷 を中心に順次公開。

HP <http://www.gojyu.com/>

DVD ブエナビスタホームエンターテインメントから販売。

HP <http://club.buenavista.jp/ghibli/>

三鷹市では、まもなく市民の皆様による実行委員会が企画した、市内在住の児童が本作家・神沢利子さんの展覧会が開かれる予定です。皆様もぜひ、久しぶりに絵本の扉を開けて、心を豊かにしてみませんか?

三鷹市では、まもなく市民の皆様による実行委員会が企画した、市内在住の児童が本作家・神沢利子さんの展覧会が開かれる予定です。皆様もぜひ、久しぶりに絵本の扉を開けて、心を豊かにしてみませんか?

子どもの頃は一日が長く、おとなになると狭く感じる児童公園も広く感じられていたものです。子どもの手には大きく感じたあの絵本もこの絵本も、その頃の私にとって、思いをまだ見ぬ世界に広げ、過去へも未来へも時空を超えさせる魔法の存在でした。

JR三鷹駅南口のコラルビル5階の三鷹市美術館ギャラリーでは、3月11日まで「世界の絵本がやってきたプラティスラヴァ世界絵本原画展」を開催しています。

2年に一度スロバキア共和国の首都プラティスラヴァで開催される絵本原画展での入選作をはじめ、展示されている原画の中に引き込まれる時間は、私たちに子ども時代の感性を呼び起こさせてくれます。私も、この展覧会で、一足飛びに子どもの頃へと心を飛ばすことができました。

入館時に配られるパンフレットには、それぞれの原画の説明に加えて、ちよっとした質問が書かれています。その答えを探しながら原画を見ると、普段とは少し違う絵の描き方ができます。たとえば「黒鉛筆と赤鉛筆」の原画では、絵の中に本物の鉛筆の一部が上手に使われていることを発見できます。

## 市長コラム

三鷹市長 清原慶子



### 絵本の扉を開けて